

令和5年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況①）

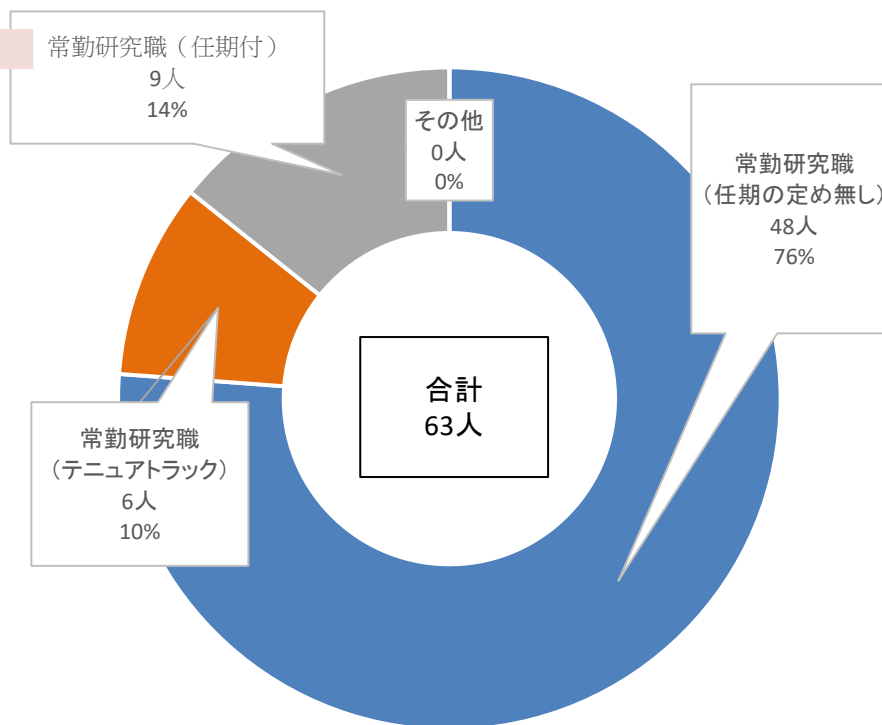
平成29年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員となった者に対して、研究活動状況等について2回目の追跡調査を実施

- ・調査実施時期：R5.10月
- ・調査対象期間：R2～R4年度の3年間 ※1回目調査（調査対象期間H29～H31）の結果については[こちら](#)
- ・調査対象者数：71名、回答者数：63名（回答率 88.7%）

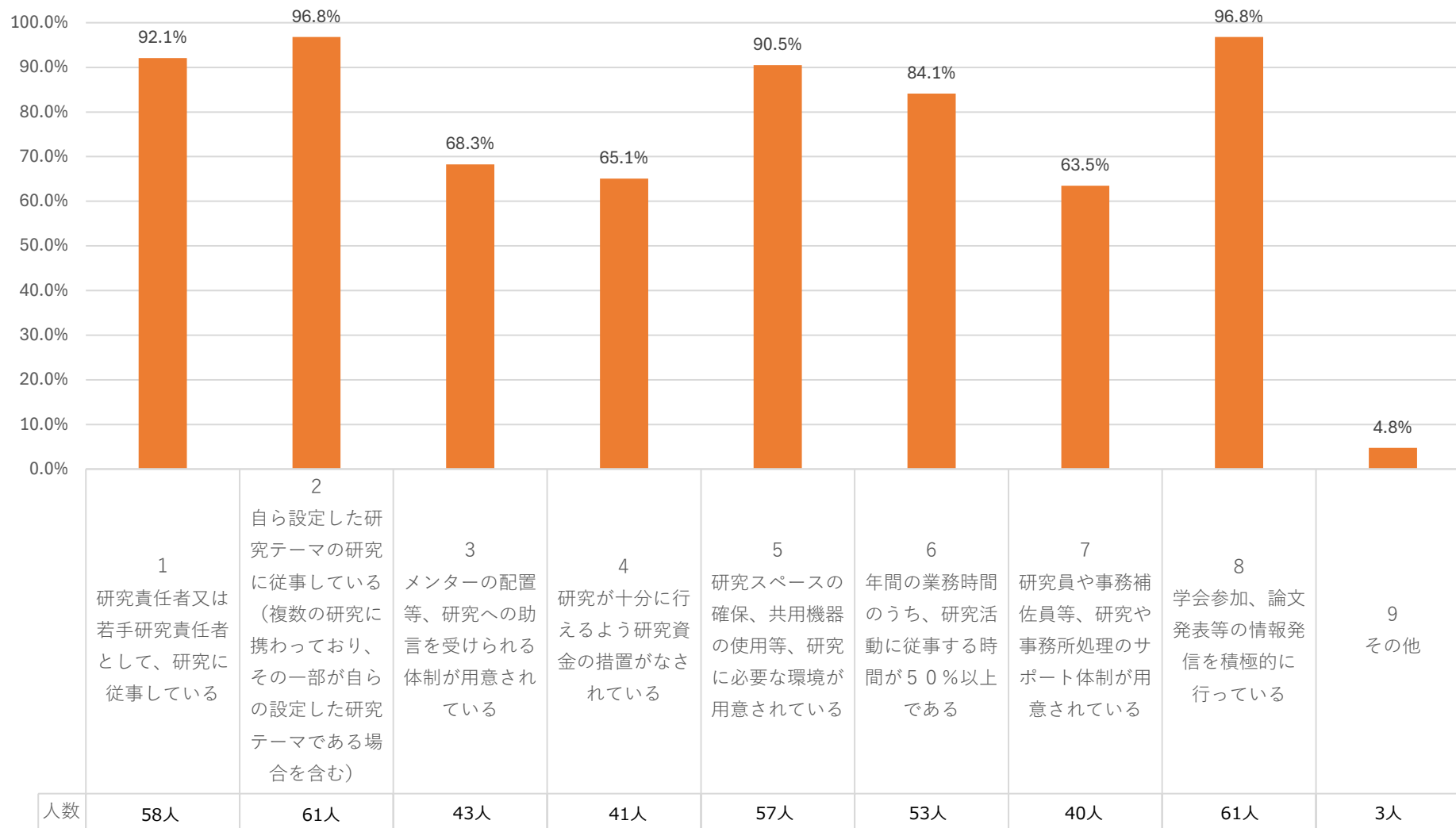
○雇用形態について

常勤研究職（任期付）の内容
（①任期②更新可能回数）

- ・①7年 ②0回
- ・①5年 ②0回 ※2人該当
- ・①5年 ②1回 ※3人該当
- ・①1年 ②0回
- ・①1年 ②4回
- ・①1年 ②場合により更新

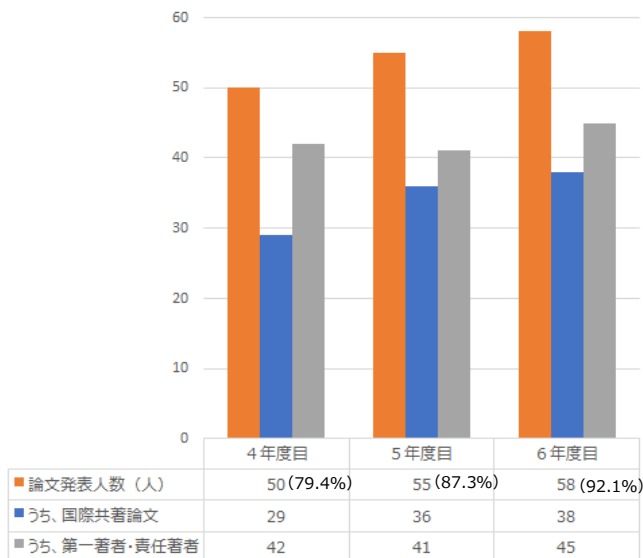


○研究活動状況について

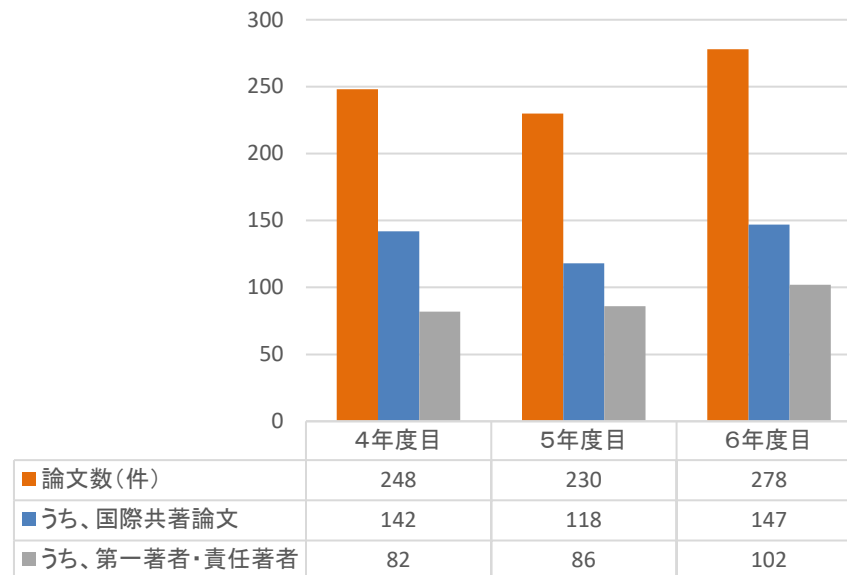


○研究活動実績について（論文発表）

〈論文発表人数〉



〈論文数〉



※括弧内は回答者数に対する論文発表人数の割合

最も学術的価値の高い論文が掲載されたジャーナル名（第一著者・責任著者のみ・6年度目）

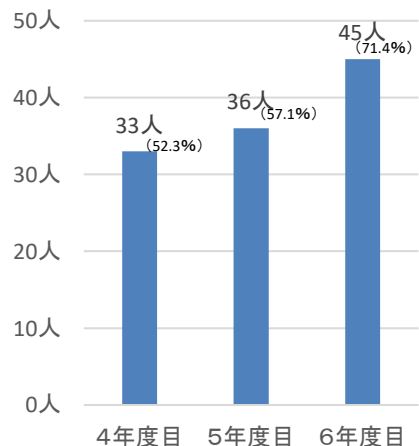
○ACS Catalysis ○Advanced Functional Materials ○Advanced Functional Materials ○Angewandte Chemie International Edition ○Applied Physics Express ○Atmospheric Environment ○Bioengineering ○Chemical Engineering Science ○Chemical Physics Letters ○Chemical Science ○Compositio Mathematica ○eLife ○Emerging Infectious Diseases ○Epijournal de Geometrie Algebrique ○Geophysical Research Letters ○IEEE JOURNAL OF SOLID-STATE CIRCUITS ○IEEE Transactions on Circuits and Systems for Video Technology ○IEEE Transactions on Visualization and Computer Graphics ○International Journal of Neural Systems ○Japanese Journal of Applied Physics ○Journal of Applied Physiology ○Journal of Fluid Mechanics ○Journal of Geophysical Research ○Journal of Japan Society of Civil Engineers ○Journal of Low Temperature Physics ○Journal of the American Chemical Society ○Journal of the Physical Society of Japan ○Molecular & Cellular Proteomics ○Molecular Cell ○New Journal of Chemistry ○Optics Continuum ○Physica Status Solidi A: Applications and Materials Science ○Physical Review B ○Physical Review D ○Physical Review Letters ○Physical Review Research ○Plant and Cell Physiology ○Plant Physiology ○PLOS Computational Biology ○Progress in Particle and Nuclear Physics ○Science of the Total Environment ○Scientific Reports ○Sensors ○Smart Materials and Structures ○The Astrophysical Journal ○The Journal of Physical Chemistry C 等（アルファベット順）

令和5年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況④）

○研究活動実績について（科研費）

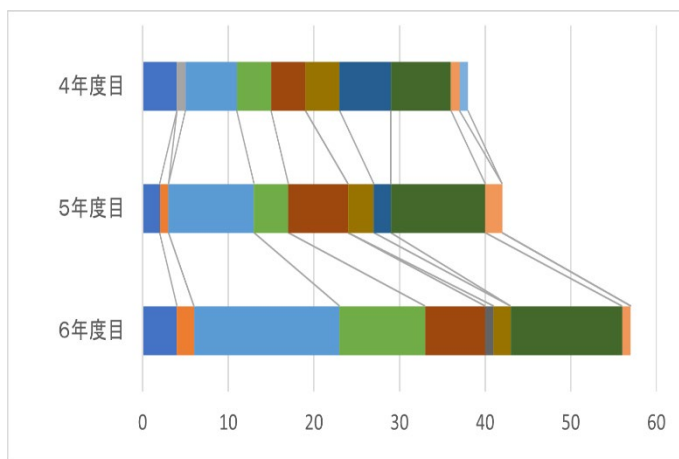
※各年度2件まで回答

〈獲得人数〉

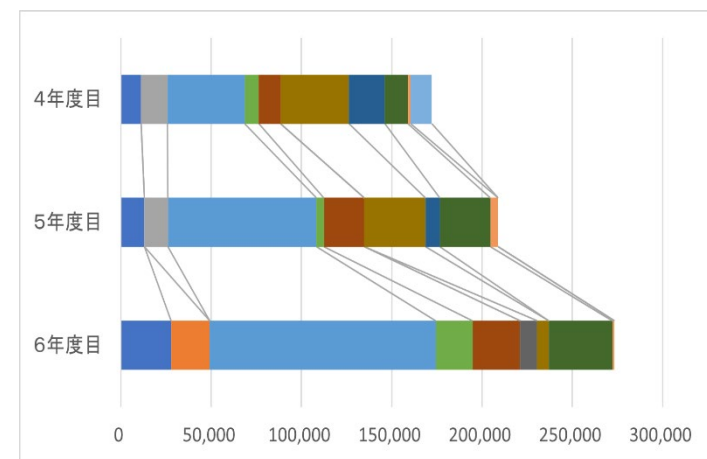


※括弧内は回答者数に対する科研費獲得人数の割合

〈種目別獲得件数（件）〉



〈種目別獲得金額（千円）〉



〈種目別獲得件数（件）〉

	4年度目	5年度目	6年度目
■新学術領域研究	4	2	4
■学術変革領域研究(A)	0	1	2
■学術変革領域研究(B)	1	0	0
■基盤研究(B)	6	10	17
■基盤研究(C)	4	4	10
■挑戦的研究(萌芽)	4	7	7
■挑戦的研究(開拓)	0	0	1
■若手研究(A)	4	3	2
■若手研究(B)	6	2	0
■若手研究	7	11	13
■研究活動スタート支援	1	2	1
■国際共同研究強化(A)	1	0	0

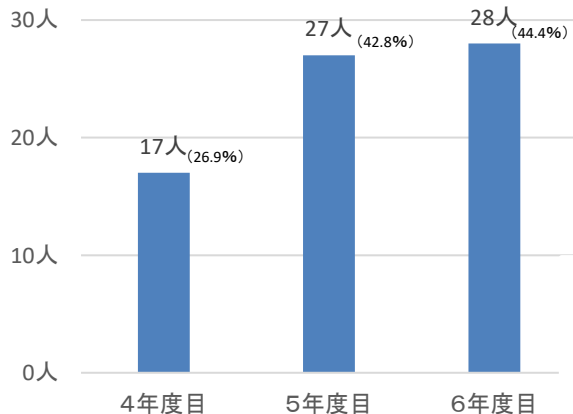
〈種目別獲得金額（千円）〉

	4年度目	5年度目	6年度目
■新学術領域研究	11,210	13,070	27,930
■学術変革領域研究(A)	0	0	21,210
■学術変革領域研究(B)	14,650	13,100	0
■基盤研究(B)	42,790	82,080	125,250
■基盤研究(C)	7,790	4,200	20,364
■挑戦的研究(萌芽)	12,080	22,270	26,400
■挑戦的研究(開拓)	0	0	9,300
■若手研究(A)	37,810	34,010	6,600
■若手研究(B)	19,890	7,930	0
■若手研究	12,830	28,031	35,084
■研究活動スタート支援	1,430	4,190	1,100
■国際共同研究強化(A)	11,700	0	0

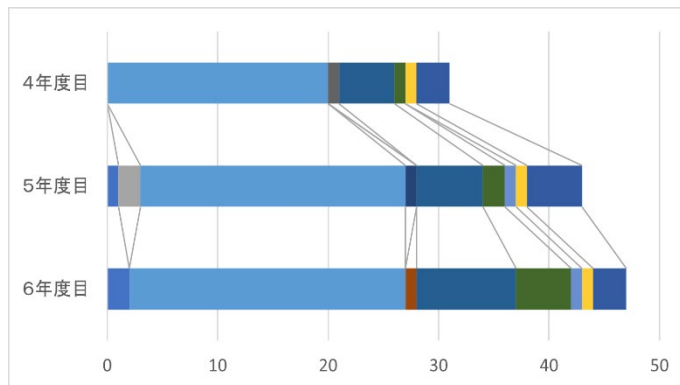
令和5年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成29年度卓越研究員の研究活動状況⑤）

○研究活動実績について（その他外部資金）※各年度4件まで回答

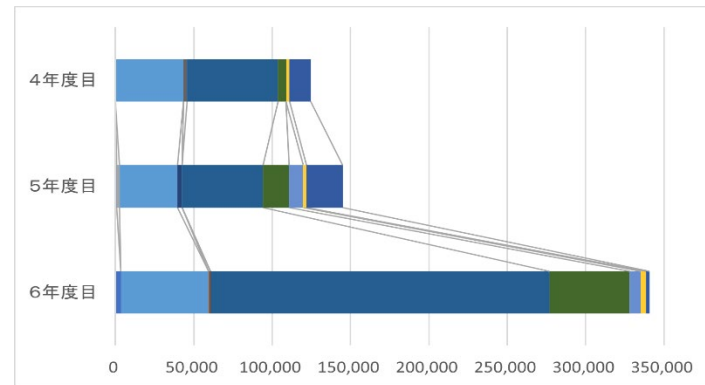
〈その他外部資金・獲得人数〉



〈助成団体別獲得件数(件)〉



〈種目別獲得金額(千円)〉



助成団体（6年度目）

○AMED ○JAXA ○JST ○NEDO ○株式会社吉野家 ○公益財団法人泉科学技術振興財団 ○公益財団法人カシオ科学振興財団 ○公益財団法人カシオ科学振興財団 ○公益財団法人がん研究振興財団 ○公益財団法人ノバルティス科学振興財団 ○公益財団法人ハーモニック伊藤財団 ○公益財団法人村田学術振興財団 ○公益財団法人旭硝子財団 ○公益財団法人稲盛財団 ○公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団 ○公益財団法人高橋産業経済研究財団 ○公益財団法人住友財団 ○公益財団法人上原記念生命科学財団 ○公益財団法人東レ科学振興会など

〈助成団体別獲得件数(件)〉

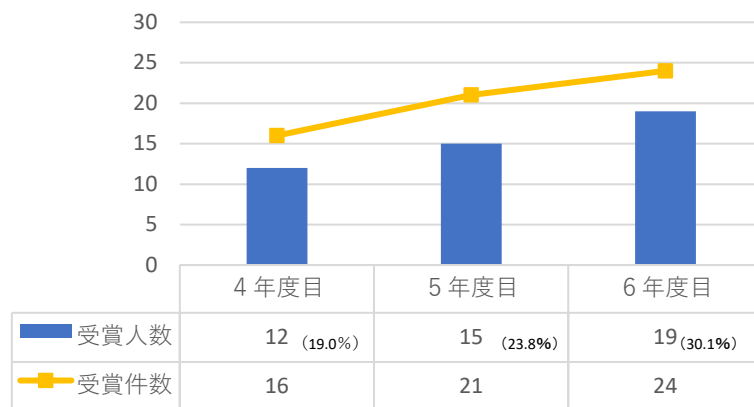
	4年度目	5年度目	6年度目
■株式会社	0	1	2
■一般財団法人	0	2	0
■公益財団法人	20	24	25
■特定非営利活動法人	0	1	0
■官公庁	0	0	1
■独立行政法人(JSPS)	1	0	0
■国立研究開発法人(JST)	5	6	9
■国立研究開発法人(AMED)	1	2	5
■国立研究開発法人(NEDO)	0	1	1
■国立研究開発法人(JAXA)	1	1	1
■国立大学等(所属大学)	3	5	3

〈種目別獲得金額(千円)〉

	4年度目	5年度目	6年度目
■株式会社	0	720	3,500
■一般財団法人	0	2,000	0
■公益財団法人	43,351	36,826	56,099
■特定非営利活動法人	0	3,000	0
■官公庁	0	0	900
■独立行政法人(JSPS)	2,375	0	0
■国立研究開発法人(JST)	58,000	51,500	216,464
■国立研究開発法人(AMED)	5,108	16,768	51,208
■国立研究開発法人(NEDO)	0	9,000	6,923
■国立研究開発法人(JAXA)	2,232	2,030	3,593
■国立大学等(所属大学)	13,521	23,249	2,170

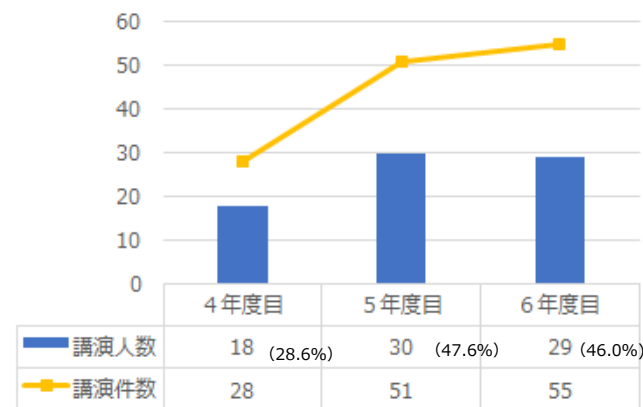
○研究活動実績について（その他）

〈受賞歴〉 ※各年度3件まで回答



※括弧内は回答者数に対する受賞人数の割合

〈国際会議招待講演〉



※括弧内は回答者数に対する講演人数の割合

賞の名称(6年度目)

○文部科学大臣表彰 若手科学者賞 ○Best Paper Award, The 20th World Congress of the International Fuzzy Systems Association (IFSA) ○King's STEM Alumni Award ○Springer Best Paper Award - 1st Prize ○The Best Poster Award at the 5th International Symposium on Long-Period Stacking Order and Mille-feuille Structures ○RIKEN Ohbu Research Incentive Award ○セルロース学会 奨励賞 ○化学とマイクロ・ナノシステム学会第45回研究会 優秀研究賞 ○化学とマイクロナノシステム学会の若手優秀賞 ○化学工学会 研究奨励賞 玉置明善記念賞 ○公益社団法人新化学技術推進協会 第21回GSC賞 奨励賞 ○酵素応用シンポジウム 研究奨励賞 ○人文科学とコンピュータシンポジウム, ベストポスター賞 ○第11回 藤原洋数理学賞奨励賞 ○第48回免疫学会学術集会ベストプレゼンテーション賞 ○第60回 燃焼シンポジウム ポスタープレゼンテーション賞 ○第66回応用物理学会春季講演会 Poster Award ○第95回日本薬理学会年会 優秀発表賞 ○日本ゲノム微生物学会研究奨励賞○日本セラミックス協会 進歩賞 ○日本リモートセンシング学会 優秀論文発表賞 ○日本学術振興会賞 など

その他実績

○国内共同研究（6名）○特許出願（11名）○書籍出版・執筆（13名）など